



結 う

2月の活動を振り返って

～ 山内地区交流センター運営協議会の動き ～

2月28日(水)に、山内地区交流センター運営協議委員研修会を開催しました。運営協議委員が地域づくり、生涯学習、健康スポーツ3部会のいずれかに所属し、それぞれ地域の声を聴きながら必要な事業を展開してきています。しかし、所属以外の部会の取組の理解は十分とは言えません。そこで、各部会の重点事業や広く理解を求めたい事業に絞って研修会をもつことにしました。

1回目は地域づくり部会の「これからの山内地域の移動支援の在り方を探る」取組について、報告を受け意見交換する内容でした。意見交換の時間を十分に取れなかったものの、今後委員の声を参考にしながら事業を進めていきます。



同日、研修会に引き続き3部会の会議が開かれました。各部会とも今年度後期事業の振り返り(評価)と、来年度の事業案の検討が主な案件でした。健康スポーツ部会と生涯学習部会では、いずれも山内小学校の運動会や学習発表会への地域の関わり方が話題の一つでした。地域と学校がより密に関わりあう(協働)ことが求められています。地域づくり部会では、世代間交流の場としての地域食堂(仮称)の試行について、生活支えあいたい委員を兼ねている委員から話題提供がありました。



健康スポーツ

生涯学習

地域づくり

第3回学校運営協議会 開催（山内小学校）



2月27日(火)に、山内地区交流センター研修室を会場に、今年度3回目の学校運営協議会が開かれました。山内小学校からは桐原校長と佐々木教頭が出席、他に6名の運営協議委員が出席し、今年度の振り返りと来年度に向けた展望について協議しました。

○違いを認め合い、力を合わせられる子ども

○よく聞き、考え、表現できる子ども

○一歩踏み出し行動を起こせる子ども

桐原校長から、この目指す子どもの姿に、子どもたちがどれくらい近づいたか話していただきました。また、昨年度の運営協議会で出た要望「学校行事と地域の関わり」「山内のよさの実感」「情報発信の強化」「学校林活動の継続」に対する取組についてもていねいに説明していただきました。

佐々木教頭からは、学校職員、保護者、学校運営協議委員による教育活動や家庭生活に関する評価結果について説明がありました。職員評価では前期に対し後期の評価が向上していること、保護者では全て項目で90%前後の肯定的な評価だったこと、地域資源を生かした特色ある活動への委員からの高評価などの説明がありました。

委員の皆さんから

- ・学習発表会のエンディングで久しぶりの村民歌に感動した。
- ・地域に子どもの姿が見られないから学校への関心も高まらないのでは。
- ・御嶽清流太鼓を学んだ子なら、一旦地域を離れてもまたつながる契機に。
- ・具体的な行動目標があれば(学校地域協働の)方向性が見えるのでは。
- ・山内スカイスクールなども地域資源として活用したらどうか。
- ・地域の人と関わりながら学ぶ防災学習があってもよいのでは。



能登半島地震支援チャリティ公演

日時 3月24日(日) 14:00~16:30

御嶽清流太鼓保存会

出演

高橋一郎

劇団かんじき (主催)



入場料

500円 (中学生以上)

無料 (小学生以下・80歳以上)

チケットは山内地区交流センターで販売(平日)



山内小学校卒業式

日時 令和6年3月15日(金)

午前10時 開式

式場 山内小学校体育館

卒業生 11名

ご卒業おめでとうございます。巣立つ11名のやまばとっ子のさらなる活躍を期待しています

まもなく令和5年度も終わろうとしています。3月に入ってから、まるで帳尻を合わせるかのように数日間降雪が続きましたが、雪の少ない冬でした。皆さんに楽しんでもらえる企画や皆さんと考えていきたい地域の課題など、運営協議委員が協議を重ねて事業化してきました。来年度はもっと皆さんの思いを、声を反映できるように努めたいと思います。来年度もよろしくお願ひします。 山内地区交流センター運営協議会事務局